

児童

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援室kodomo鶴見中央（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近隣の保育園への徒歩送迎	交通ルールを守り安全な道を考慮したルートを職員で共有している。	徒歩送迎を行っている。送迎時にはベビーカー、ワゴンの活用を行っている。
2	リトミック・音楽療法を取り入れている	季節の行事と、NCプログラムを合わせたカリキュラムを行っている。	個々の成長に合わせて、できることを伸ばすように工夫、実施している。
3	感覚統合を取り入れたカリキュラムの実施	口の動き、舌の使い方。指、指先、腕。歯磨き、うがい等。微細運動を大事にしている。	個々の興味のある素材やキャラクターも用いて楽しんで取り組んでいるうちに、できる事が増えるように工夫している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トイレの段差、職員室の段差がある。バリアフリーではない	段差がわかるように色を付けて工夫している	バリアフリーにするには構造上難しい
2	トイレが1つ	児童の人数が増え、高学年も増えてきた。	対策を考えたい
3			